

常緑広葉樹

オガタマノキ (モクレン科)

Michelia compressa

暖地性で伊豆半島などに自生しているが、神社などで大木をみることもある。名の由来は、「招魂まきたまの木」がなまってオガタマノキになったといわれ、神社の神木として祭られていることが多い。

特性

- 常緑高木10～15m ●耐陰性あり
- 肥沃な適潤地を好む ●生長やや早い
- 暖地を好み耐寒性は弱い
- 萌芽力弱く剪定を好まない ●大気汚染・潮風に弱い
- 移植困難 ●耐火性あり

観賞

- 花(3～4月) ●樹姿(通年)

用途

- 庭園樹 ●公園樹 ●神社

植域

- 本州(関東以南) ●四国 ●九州

繁殖

- 実生

その他

- 花には芳香がある



静岡市葵区

Calendar	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
管理こよみ		施肥			移植					播種		



主な病害虫

葉

幹・枝 ルビーロウムシ